

政策整理番号 2

評価シート(B)

対象年度	H16	作成部課室	保健福祉部医療整備課	関係部課室	
------	-----	-------	------------	-------	--

政策番号	1-1-2	政策名	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり
------	-------	-----	----------------------------------

施策番号	1	施策名	地域の中核的な病院の整備
------	---	-----	--------------

A - 3 - 1 施策の有効性:規則 § 6 3号

有効
概ね有効
課題有

【政策評価指標達成状況から】 判定不能
 ・指標名:入院患者の自圏域(二次医療圏)入院率 達成度 …
 ・(達成状況の背景)入院率は5年ごとの患者調査により把握しており次回は平成18年に調査する。
 ・(達成度から見た有効性)最新のデータがないことから判定不能。

【政策満足度から】 有効
 ・満足度は高いが、県民の医療に対する要望は多様であり、一層の満足度の向上のため継続した施策の展開は必要であり、施策の有効性は高いと判断する。

【社会経済情勢を示すデータの推移から】 有効
 ・公立刈田総合病院(70.0% 74.0%)、みやぎ県南中核病院(62.9% 62.5%)、栗原中央病院(73.4% 71.2%)、平成15年と平成16年比較で病床利用率が向上しているところもある。

【総括】 有効
 ・本施策は、広域圏からの要望に基づく施策であり、各圏域の医療提供体制を整備する上で地元満足度は高い。今後も石巻地域をはじめ中核的な病院の整備を継続支援することで効果が発揮する。

施策を構成する事業の事業番号と種別

事業番号	種別	事業名	事業番号	種別	事業名
1	主	地域の中核的な病院整備推進事業	6		
2			7		
3			8		
4			9		
5			10		

主:宮城県総合計画第 期実施計画に掲載されている「主要事業」 重:重点事業のうち主要事業以外の事業

B - 1 施策実現にむけた県関与の適切性と事業群設定の妥当性:規則 § 6 1号, 4号

適切
概ね適切
課題有

【国,市町村,民間団体との役割分担】 適切
 ・(国)医療施設等施設整備費補助金により補助している。
 ・(県)県としては、上記の補助金の他に地域の中核的な公的病院を重点的に支援している。
 ・(市町村)公的病院は、市町村及び組合立が多く救急医療やへき地医療など不採算性の高い医療サービスを提供している。
 ・(民間団体)市場経済の中で、経済合理性に則り各種医療サービスを提供している。
 ・本施策に係る事業群は、上記役割分担に沿って設定・実施されており県の関与は適切である。

【施策目的を踏まえた事業か】 適切
 ・公的病院を支援することは、救急医療やへき地医療など特殊分野の充実に不可欠である。

【事業間で重複や矛盾がないか】 適切
 ・目的、対象者に応じ事業が適正に設定されており、重複や目的が矛盾する事業はない。

【社会経済情勢に適応した事業か】 適切
 ・市町村合併が進むなど公的病院を取り巻く状況は激変しており、病病間及び病診間の連携・機能分担の推進は益々重要性を増している。その中心になる中核的な病院を支援することは時宜にかなう。

【施策重視度と満足度のかい離が大きいか】(事業の必要性) 適切
 ・医療サービスの特殊性から、乖離度は改善されないが、県民の生命・健康に直結する事業であり一層の充実が必要である。

【総括】
 ・地域の中核的な病院は、救急医療やへき地医療など民間医療機関によるサービスが不足している分野を運営しており、県としても平等の医療水準を確保するために支援することは必要である。

評価シート(B)

政策整理番号 2

施策番号 1 施策名 地域の中核的な病院の整備

B - 2 事業群の有効性:規則 § 6 2号

有効 概ね有効 課題有

【施策満足度から】 課題有
 ・満足度に改善がみられないが、地域の中核的な病院への資源の集中は医療政策として合理性がある。

【政策評価指標達成状況から】 判定不能 「政策評価指標分析カード(4)ア」から抜粋
 ・最新の調査結果がないので不明。

【社会経済情勢を示すデータの推移から】 有効
 ・地域の中核的な病院(栗原中央病院(205 300)、公立刈田総合病院(275 300)、みやぎ県南中核病院(135 300))への病床の集積が進んでおり、病院経営と医療資源の効率性も確保されている。

【業績指標推移から】 有効
 ・地域の中核的な病院(栗原中央病院(205 300)、公立刈田総合病院(275 300)、みやぎ県南中核病院(135 300))の施設・設備の整備は確実に推進していることから、入院の受入体制は充実している。

【成果指標推移から】 判定不能
 ・最新の調査結果がないので不明。

【総括】
 ・国民医療費は増加しており、その理由の一つとして高度医療の推進が挙げられており、高度医療の担い手として地域の中核的な病院は存在意義がある。

B - 3 事業群の効率性:規則 § 6 3号

効率的 概ね効率的 課題有

【施策満足度 業績指標・成果指標】 課題有
 ・医療機関の整備は、中核的な病院に資源を集中することが効率的であり、病院から遠隔地にいる県民にとっては、このこと自体が不満の原因になることから、施策と満足度は相反する。

【政策評価指標達成度 業績指標・成果指標】 判定不能
 ・最新のデータがないので不明。

【社会経済情勢データ 業績指標・成果指標】 有効
 ・病院の建て替えに併せ、栗原中央病院(205 300)、公立刈田総合病院(275 300)、みやぎ県南中核病院(135 300)の病床数を増加させるなど医療機能の集積により機能も充実している。

【事業費に対する業績指標の割合(効率性指標)が適切か】 判定不能
 ・最新のデータがないので不明。

【総括】 効率的
 ・民間病院や小規模公的病院への支援では、十分な効果が期待できない救急医療やへき地医療等を推進するためには、地域の中核的な病院を集中的に整備することが効率的である。

B 施策評価(総括):規則 § 6

適切 概ね適切 課題有

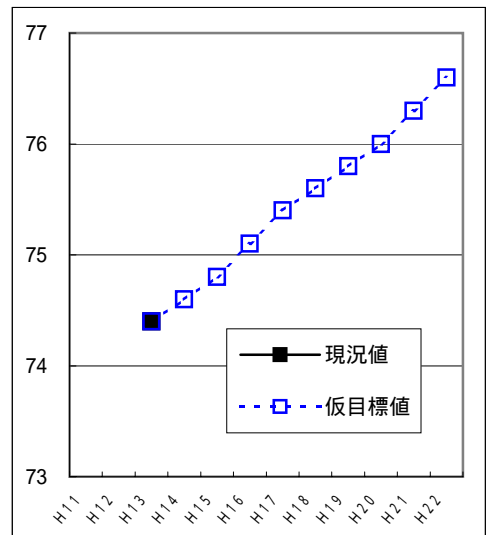
・県民の医療に対する評価は、施設・設備、医師などのマンパワー、診療科目や救急医療などの機能、アクセスシビリティなど複雑な要素の集合体であり、本事業の目的は施設・設備の向上を目的にしており、趣旨は達成されている。しかしながら、石巻地域、気仙沼地域、登米地域など今後も地域の中核的な病院の支援を継続する必要がある。

対象年度	H16	作成部課室	保健福祉部医療整備課	関係部課室	
政策番号	1-1-2	政策名	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり		
施策番号	1	施策名	地域の中核的な病院の整備		

(1) 政策評価指標の推移

政策評価指標名		単位						
入院患者の自圏域内(二次医療圏)入院率		入院率						
目標値	難易度	H17	75.4					
		H22	76.6					
評価年	初期値	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
測定年	H13	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
現況値 (達成度判定値)	74.4				74.4	
仮目標値					74.4	74.6	74.8	75.1
達成度					

政策評価指標値の推移(グラフ)



難易度: (トレンド型目標 実現が可能), (中間型目標 実現が困難), (チャレンジ型目標 実現がかなり困難)

(2) 指標の選定理由

- ・病气やけがなどの事態が生じても、より身近な地域で高度な医療が受けられることが望ましい。
- ・病气やけがなどで入院する場合に、より身近な地域の医療機関に受け入れられることにより、本人や家族の負担が軽減できる。
- ・生活の基礎的な安心を提供することが、今住んでいる地域に住み続けることができるための条件である。

(3) 施策満足度の推移

施策満足度 (単位:点)	年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
	施策重視度 A	-		80	80	80						
施策満足度 B	-		50	50	50							
かい離 A-B	-		30	30	30							

(4) 政策評価指標の妥当性分析

ア 達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し	イ 達成度と施策満足度の推移の相関
達成度:・・・ ・各地域の中核的な病院の整備が進んでおり、各圏域ごとの医療提供体制が整備されてきている。今後継続して整備を進めることで、自圏域内入院率の向上が見込まれる。 ・入院率は患者調査に基づき判明するが、次回調査は平成18年度に実施する予定。	判定:・・・ ・県民の医療に対する評価は、身近な診療所及び病院からはじまり、高度な医療を提供する大学病院等まで幅広い要望がある。しかしながら、医療は、経営的な側面もあり人口密度などにより、全ての地域に満遍なく医療資源を配置することは不可能であり、そのことが低い満足度として現れている。 相関の判定: (正の相関)、×(負の相関)、...(判定不能 満足度あるいは達成度の変動がない、または達成度が判定不能のため相関の検証ができない場合等)

(5) 政策評価指標の妥当性の検証(総括)

存続 要検討

[施策の有効性を評価する上で適切な指標か]
 ・地域医療体制の充実を図るため地域の中核的な病院の整備を進めることで、身近な地域での医療の完結が図られ、入院患者の自圏域内入院率の向上が見込まれることから、政策評価指標として存続すべきと考える。

施策・事業展開シート(C)

政策整理番号 2

対象年度	H16	作成部課室	保健福祉部医療整備課	関係部課室	
政策番号	1-1-2	政策名	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり		
施策番号	1	施策名	地域の中核的な病院の整備		

C - 1 評価結果から抽出される課題と対応策

【政策評価】施策群設定の妥当性, 施策群の有効性
 ・地域の中核的な病院に係るハード面の整備は、順調に推進しているが、今後も石巻地域をはじめ他圏域への支援が必要である。

【施策評価】事業群設定の妥当性, 事業群の有効性, 効率性
 ・地域の中核的な病院に係るハード面の整備は、順調に推進しているが、今後も石巻地域をはじめ他圏域への支援が必要である。

【上記対応により、当該事業を縮小・中止した場合の影響】

C - 2 施策・事業の方向性

施策の次年度(H18年度)の方向性とその説明

方向性	拡大	維持	縮小	その他
-----	----	----	----	-----

【見直しの視点とその理由】

【次年度の方向性】
 ・現在支援している3病院に加え、平成18年度に移転新築オープンする石巻赤十字病院に対しても支援する必要がある。

主要事業・重点事業の次年度(H18年度)の方向性とその説明

事業番号	種別	事業名 [H16決算見込額]	方向性	方向性に関する説明
1	主	地域の中核的な病院整備推進事業 [413,531千円]	維持	現在支援している3病院に加え、平成18年度からは石巻赤十字病院に対する支援も検討する必要がある。
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				